

航空運航指令室

(西尾秀樹 著)

発行所：成山堂書店、定価：1,980円（税込）

これまであまり語られることのなかった航空機の運航管理部門の業務を、実際の事例を交えて紹介する書籍。気象状況の確認やダイバート（目的地空港の変更）、引き返しなど、航空会社はどのように検討し、決定しているのか。大雪や台風などの悪天候、航空機事故後の大量欠航、さらには東日本大震災のような大規模災害といった重大なイレギュラーから、日常的な乗客の搭乗遅延に至るまで、航空機の運航を支える『オペレーション・コントロール・センター（OCC）』では、どのような判断と対応が行われているのか。航空運航指令室＝OCCの役割や業務内容、意思決定のプロセスを、わかりやすく解説する。

〈出版社より〉

**ビジュアル NASA 図鑑 宇宙開発 65年の全記録**

(ビル・シュワルツ 著、岡本由香子 訳)

発行所：日経ナショナルジオグラフィック、定価：3,960円（税込）

貴重なアーカイブから最新の研究まで、NASAの宇宙開発のすべてを記録したビジュアルブック決定版！宇宙開発競争を指揮するジョン・F・ケネディ大統領の有名なスピーチ全文、アポロ計画、月面着陸、スペースシャトル、国際宇宙ステーションなど、多くの挑戦と成功と失敗を貴重な図版や当時の写真、そして文章で紹介。1958年の創設からジェイムズ・ウェッブ宇宙探査局まで、65年にわたる宇宙開発の全記録をカラー写真197点、モノクロ写真39点で網羅。常に挑み続けるNASAを知ることができます。

〈出版社より〉

**新着図書案内****① フライガールズ**

逆境を乗り越えた五人の女性パイロット

(キース・オブライエン 著、小林政子 訳／国書刊行会)

② 初飛行40周年記念企画展「飛鳥」

(公益財団法人 岐阜かかみはら航空宇宙博物館)

③ とびたくないヒコーキ ポッポ

(絵羽のりこ 著／WCC 365+1 label)

④ チ。一地球の運動について— 1~8巻、Q集

(魚豊作・画／小学館)

⑤ 軍用機の誕生 日本軍の航空戦略と技術開発

(水沢光 著／吉川弘文館)

ズーミング！ ヘリコプター

(青木謙知/石原肇 監修、SUBARU/岩手県警察航空隊 協力)

発行所：秀和システム新社、定価：2,200円（税込）

ヘリコプターは、警察や防災、救急医療など、私たちの暮らしを支える多くの場面で活躍しています。本書では、「ヘリコプターはどうやって空を飛ぶの？」「タイヤがないのに地上でどう動くの？」「どこで造られているの？」など、子どもたちが抱く素朴な疑問20項目にズーム写真とわかりやすい文章で答えます。飛行の仕組みから構造、整備・運航までを幅広く紹介し、ヘリコプターの魅力としくみを楽しく学べる一冊です。学校の調べ学習や自由研究にもぴったりです。

**航空の二〇世紀**

(高田馨里 編著)

発行所：日本経済評論社、定価：6,600円（税込）

1920年代以降、航空技術の発展を前に、世界中の人が熱狂しました。世界的な「航空熱」の時代です。本書はまず、社会・文化的な側面から各国の熱狂の様相をよみとります。1930年代後半以降、熱狂は「戦争熱」へと転化していきます。航空機への熱狂はいかに戦争に「動員」されたのでしょうか。最後に、冷戦期の「空の帝国」アメリカ、航空（宇宙）大国化を遂げるソ連、両国の支援を受けた南アジアの空軍／民間航空の発展を論じ、民間航空の再出発によって訪れた新時代を捉えます。日本・アジア・欧米の近現代を、航空、民間／空軍、平和／戦争、ジェンダーといった視点から捉える、重厚で刺激的な一冊です。

**⑥ 宇宙飛行士が教える地球の歩き方**

(クリス・ハドフィールド 著、千葉敏生 訳／早川書房)

⑦ 世界の絶景空港撮りある記

ギネス認定カメラマンが各国を歩いた、撮った！

(チャーリー古庄 著／イカロス出版)

⑧ Flight: The Complete History

(R.G. Grant 著／DK Publishing)

⑨ ビジネスジェットから見る現代航空政策論

日本での普及に向けた課題 (戸崎肇 著／晃洋書房)

⑩ 四月十六日の出撃

沖縄に散ったある特攻隊員の足跡 (小暮達夫 著)